

事業名	中高競技力向上事業費			調査番号	111
細事業名	県小中学校体育連盟補助金	財務コード	163901		
担当部課室	教育委員会	スポーツ健康課	競技スポーツ	担当 (内線)	8434

事業の概要

実施期間	始期 S62 年度 ~ 終期 年度
実施主体	補助(県小中学校体育連盟)
目的	だれ(何)を対象に 県小中体学校体育連盟が県教育委員会と協議し、指定した県内中学校の運動部 その対象をどのような状態にして 関東大会で入賞している 結果、何に結びつけるのか 競技力の向上
内容	事業概要: 県小中学校体育連盟が県教育委員会と協議し、指定した県内中学校の運動部活動に対して活動費を助成 交付先: 県小中学校体育連盟(同連盟を通じて指定部へ補助) 補助率: 一律4万円 中学校運動指定部: 116部

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	補助対象部数	目標	116	116	116	116	116	116
		実績(見込)	116	116	116	116	116	116
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	関東大会入賞部数	目標	25	23	19	17	15	14
		実績(見込)	23	16	12	18	13	29
		達成率	92.0	69.6	63.2	105.9	86.7	207
		達成区分	b	c	c	b	b	a
決算(予算) 単位: 千円		4,640	4,640	4,640	4,640	4,640	4,640	3,480

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価
成果指標	b	

強化合宿、強化練習会、備品購入等の費用を助成することで、生徒の意識も高まり、その結果、関東大会や全国大会で入賞するなど、優秀な成績を修めている。成果指標は、関東大会入賞数の直近3年の平均としており、年度によりバラツキはあるものの、平成24年度から28年までの5年間で82部(年平均16部)が入賞しており、一定の成果を上げている。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	3年に一回、競技成績や各学校の希望等を分析し、助成対象を決定することで、関東大会で入賞する可能性のある部活動への重点的な支援が可能となり、これにより、入賞部数の増加が期待できる		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明	3年に一回、競技成績や各学校の希望等を分析し、関東大会で入賞する可能性のある部を指定し、重点的に支援する等の見直しを既に行っており、現状としては見直しの余地はない。		
見直しの必要性	無	平成24年度から28年までの5年間で82部(年平均16部)が関東大会で入賞するなど、一定の成果を上げているため、現状としては見直しの必要性はない。		

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明
-------	----

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。